

——あらゆる問題の解決のヒントが示された書物

竹村 尊敬する伊與田先生とこうして対談ができるなんて光栄の至りです。伊與田 いや、易の話ということだけれども、僕はいま九十二歳。易を学んだのは随分前のことで忘却の彼方です。それで竹村先生に教えを受けようと思つてやってきました。

竹村 「元談を……。一昨年の伊與田先生の『大学』講座（致知出版社主催）は一受講生として参加させていただきましたが、先生が達筆な字で書かれたテキストを毎回音読し、深いお話を拝聴させていただきまして、本当に勉強になりました。

伊與田先生は安岡正篤先生に師事され、数多くの古典を学びご自身を高めてこられたと伺っています。先生が最初に『易経』を学ばれたのはいつ頃のことですか。

伊與田 それは忘却の彼方から、



易経研究者

竹村 亞希子

たけむら あきこ 愛知県生まれ。中国古典・易経を分かりやすく解説する一方、企業経営者や経営幹部に『易経』に基づくアドバイスを行っており、その実績から多くの厚い信頼を得ている。講演活動の一方で、NHK文化センター『易経』講座の講師を務める。著書に『人生に生かす易経』（致知出版社刊）『リーダーの易経』（PHP研究所刊）などがある。

『易経』に見る リーダーのあり方

悠久の歴史の中で人々に読み継がれてきた四書五経の一つ『易経』。

それは同時に上に立つ者のあり方を示すものとして古来、

数多くの指導者たちが考えや行動の指針としてきた指南書でもある。

安岡正篤先生の門下で『易経』にも造詣が深い伊與田覺氏と、

伊與田氏を敬愛し、『このほど弊社より『人生に生かす易経』を出版した易経研究家の竹村亞希子さんに、

『易経』が教える将の条件を語り合っていた。